

【2009年度】

(講演)

1. 抗疲労癒シーズ発表会において「休息状態や活性状態への誘導に役立つ生体由来のゆらぎ信号の活用法」の演題で講演実施。2009年10月26日
大阪産業創造館

(学術論文)

1. 城 和男、萩原 啓：赤外線モーションセンサを用いた睡眠時体動の評価、生体医工学 47(1) 7-14, 2009
2. 芝垣佑美、小川 梢、萩原 啓：眠気とリラックス状態の差異明確化のための生理指標の検討 ー異なる照度刺激を用いてー、計測自動制御学会
論文集 46(1) 65-71, 2010
3. 金倉智行、稲本辰巳、萩原 啓： α 波を生理指標とした覚醒度と身体動揺との関係、生体医工学 48(1) 93-97, 2010

(国際学会発表論文)：査読付

1. Ayumu Fukao, Toshio Nakano, Bungo Imai, Akihiro Michimori, Hiroshi Hagiwara: Physiological Effects of Horseback-Riding Simulator for the Elderly Determined Using Near-Infrared Spectroscopy, HCI12009 216-220, 2009
2. Tomoyuki Kanakura, Tatsumi Inamoto, Hiroshi Hagiwara: Relationship between Arousal Level and Posture Sway during the Eyes-Closed Condition, HCI12009 235-239, 2009
3. Toshio Nakano, Ayumu Fukao, Hiroshi Hagiwara, Bungo Imai, Akihiro Michimori : CEREBRAL HEMODYNAMICS DURING EXERCISE ON HORSE-BACK RIDING SIMULATOR BY NEAR-INFRARED SPECTROSCOPY AND COGNITIVE FUNCTION, IUPS2009 P3PM-1-24, 2009
4. Hiroshi Hagiwara: Estimation of Sleep Stage in the Falling Asleep Period Using a Lorenz Plot of ECG RR Intervals, 31st Annual International Conference of the IEEE EMBS, 2510-2513, 2009

(学会発表論文)

1. 佐藤健二、中村美穂、萩原 啓：NIRS を用いた追従および認知・判断タスク中の生理変化の特徴抽出、シンポジウム「モバイル '09」 103-108, 2009

2. 坪井宏祐、萩原 啓：ローレンツプロットを用いた心拍変動解析による睡眠状態の推定、第48回日本生体医工学会大会 644, 2009
3. 伊藤民子、萩原 啓：活動および休息状態における心拍と呼吸リズムの特徴解析、人間工学 Vol. 45 特別号 476-477, 2009
4. 稲本辰巳、金倉智行、萩原 啓： α 波構成要素の変動と覚醒度との関係、人間工学 Vol. 45 特別号 478-479, 2009
5. 高野佑樹、萩原 啓：呼吸波形に基づいた接触振動圧刺激が心身に及ぼす影響、第37回日本バイオフィードバック学会学術総会プログラム・抄録集、34, 2009
6. 佐藤健二、萩原 啓：追従および認知・判断タスクにおける反応時間の違いと脳内血中 Hb 濃度変化との関係、ヒューマンインタフェースシンポジウム2009 911-916, 2009
7. 高野佑樹、萩原 啓：呼吸波形の特徴に基づいた振動刺激が生理・心理状態に与える影響、ヒューマンインタフェースシンポジウム 2009 935-940, 2009
8. 坪井宏祐、城 和男、萩原 啓：ローレンツプロットを用いた心拍変動と睡眠状態との関係、生体医工学シンポジウム2009 489-503, 2009
9. 金倉智行、稲本辰巳、萩原 啓： α 波を生理指標とした覚醒度と身体動揺との関係、生体医工学シンポジウム2009 504-512, 2009
10. 深尾 歩、中野紀夫、今井文吾、道盛章弘、萩原 啓：NIRS計測を用いた他動揺動運動の生理効果の定量的評価、第24回生体・生理工学シンポジウム 137-140, 2009
11. 城 和男、萩原 啓：睡眠時体動計測による睡眠状態の評価、第24回生体・生理工学シンポジウム 421-424, 2009
12. 稲本辰巳、金倉智行、萩原 啓：ストループ課題及びオドボール課題中における覚醒度変化と α 波成分変化との関係 システム・情報部門学術講演会2009 97-100, 2009
13. 伊藤民子、高野佑樹、萩原 啓：活動状態から睡眠状態にわたる心拍と呼吸変動の特徴抽出 システム・情報部門学術講演会2009 101-104, 2009
14. 杉谷直哉、萩原 啓：ユーザビリティの質が及ぼす脳内酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴比較 平成21年度日本人間工学会関西支部大会論文集 49-52, 2009
15. 長崎 健、深尾 歩、萩原 啓：日常生活と異なる動作が及ぼす脳機能の活性効果 平成21年度日本人間工学会関西支部大会論文集 53-56, 2009
16. 寺西慶祐、萩原 啓：NIRSを用いたひらめき時の脳内ヘモグロビン濃度の変化の特徴抽出 平成21年度日本人間工学会関西支部大会論文集 57-60, 2009
17. 松岡 孝、萩原 啓：事象関連電位を用いた集中力変化の特徴抽出 平成21年度日本人間工学会関西支部大会論文集 61-64, 2009

(学会発表)

1. 佐藤健二、中村美穂、萩原 啓：NIRS を用いた追従および認知・判断タスク中の生理変化の特徴抽出、シンポジウム「モバイル '09」 2009 年 3 月 18 日 (キャンパスプラザ京都)
2. 坪井宏祐、萩原 啓：ローレンツプロットを用いた心拍変動解析による睡眠状態の推定、第 48 回日本生体医工学会大会 2009 年 4 月 25 日 (タワーホール船堀、東京)
3. 伊藤民子、萩原 啓：活動および休息状態における心拍と呼吸リズムの特徴解析、日本人間工学会第 50 回記念大会 2009 年 6 月 12 日 (産業技術総合研究所 つくば中央、つくば)
4. 稲本辰巳、金倉智行、萩原 啓： α 波構成要素の変動と覚醒度との関係、日本人間工学会第 50 回記念大会 2009 年 6 月 12 日 (産業技術総合研究所 つくば中央、つくば)
5. 高野佑樹、萩原 啓：呼吸波形に基づいた接触振動圧刺激が心身に及ぼす影響、第 37 回日本バイオフィードバック学会学術総会 2009 年 6 月 27 日、28 日 (大阪工業大学大宮キャンパス、大阪)
6. Ayumu Fukao, Toshio Nakano, Bungo Imai, Akihiro Michimori, Hiroshi Hagiwara: Physiological Effects of Horseback-Riding Simulator for the Elderly Determined Using Near-Infrared Spectroscopy, HCI12009 2009 年 7 月 22 日 (サンディエゴ)
7. Tomoyuki Kanakura, Tatsumi Inamoto, Hiroshi Hagiwara: Relationship between Arousal Level and Posture Sway during the Eyes-Closed Condition, HCI12009 2009 年 7 月 22 日 (サンディエゴ)
8. Toshio Nakano, Ayumu Fukao, Hiroshi Hagiwara, Bungo Imai, Akihiro Michimori : CEREBRAL HEMODYNAMICS DURING EXERCISE ON HORSE-BACK RIDING SIMULATOR BY NEAR-INFRARED SPECTROSCOPY AND COGNITIVE FUNCTION, IUPS2009 P3PM-1-24, 2009 年 7 月 30 日 (国立京都国際会議場)
9. Hiroshi Hagiwara: Estimation of Sleep Stage in the Falling Asleep Period Using a Lorenz Plot of ECG RR Intervals, 31st Annual International Conference of the IEEE EMBS Minneapolis, Minnesota, USA, 2009 年 9 月 4 日 (Hilton Minneapolis)
10. 佐藤健二、萩原 啓：追従および認知・判断タスクにおける反応時間の違いと脳内血中 Hb 濃度変化との関係、ヒューマンインタフェースシンポジウム 2009 2009 年 9 月 4 日 (お茶の水女子大学、東京)
11. 高野佑樹、萩原 啓：呼吸波形の特徴に基づいた振動刺激が生理・心理状態に与える影響、ヒューマンインタフェースシンポジウム 2009 2009

年9月4日（お茶の水女子大学、東京）

12. 坪井宏祐、城 和男、萩原 啓：ローレンツプロットを用いた心拍変動と睡眠状態との関係、生体医工学シンポジウム2009 2009年9月19日（千葉大学、千葉）
13. 金倉智行、稲本辰巳、萩原 啓： α 波を生理指標とした覚醒度と身体動揺との関係、生体医工学シンポジウム2009 2009年9月19日（千葉大学、千葉）
14. 深尾 歩、中野紀夫、今井文吾、道盛章弘、萩原 啓：NIRS計測を用いた他動揺動運動の生理効果の定量的評価、第24回生体・生理工学シンポジウム 2009年9月24日（東北大学、仙台）
15. 城 和男、萩原 啓：睡眠時体動計測による睡眠状態の評価、第24回生体・生理工学シンポジウム 2009年9月26日（東北大学、仙台）
16. 稲本辰巳、金倉智行、萩原 啓：ストループ課題及びオドボール課題中における覚醒度変化と α 波成分変化との関係 システム・情報部門学術講演会2009 2009年11月24日（東京工業大学、横浜）
17. 伊藤民子、高野佑樹、萩原 啓：活動状態から睡眠状態にわたる心拍と呼吸変動の特徴抽出 システム・情報部門学術講演会2009 2009年11月24日（東京工業大学、横浜）
18. 杉谷直哉、萩原 啓：ユーザビリティの質が及ぼす脳内酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴比較 平成21年度日本人間工学会関西支部大会 2009年12月5日（奈良女子大学、奈良）
19. 長崎 健、深尾 歩、萩原 啓：日常生活と異なる動作が及ぼす脳機能の活性効果 平成21年度日本人間工学会関西支部大会 2009年12月5日（奈良女子大学、奈良）
20. 寺西慶祐、萩原 啓：NIRSを用いたひらめき時の脳内ヘモグロビン濃度の変化の特徴抽出 平成21年度日本人間工学会関西支部大会 2009年12月5日（奈良女子大学、奈良）
21. 松岡 孝、萩原 啓：事象関連電位を用いた集中力変化の特徴抽出 平成21年度日本人間工学会関西支部大会 2009年12月5日（奈良女子大学、奈良）

以上